

										文部省計務課第一課 令達並ニ報告ノ大要	
										奉日時 受日時 令達 報告 等 種別	
										一日 六三警主任長 六根主任長 並計科現狀報告 文書	
										二日 六三警司令 四艦隊長官 司中隊中隊長 兼兼庫 併不 兼告 電	
										十日 右 同 右 同 兼原一五二日分 副食品一一日分 供食人員三四人名 兼	
										(註) 文書ニ依ルモノハ三十一日 戦況 通達セルヲ 機密書ノ類 短却セリ 二因 リ 掲記不能	

海軍

第七三號

(一) 經費出納ノ狀況

海軍部				海軍部				特殊額
本月支入額 (臨時軍費)	前月計	合計	本月支入額	前月計	合計	特殊額		
1,239,191.372	0	1,239,191.372	1,239,191.372	0	1,239,191.372	21,990.160		
1,239,191.372	0	1,239,191.372	1,239,191.372	0	1,239,191.372	21,990.160		

(注) 増俸 海軍戰時特例給與規則中一表額支給

(一) 附屬特設特務艇乗員ニ對シテハ五〇〇元以上航海加俸四欄ニ額・五〇〇額未滿
同丙額 戰時増俸 准士官以上者額 下士官等ノ額支給
(二) 其拂返爲書類上月分迄處理有

(二) 物品受拂ノ狀況

① 被服

(1) 本月中受也高十

海軍

(2) 本月中 空襲ニ依ル被害

陸戦隊用綿上靴 四〇、 防暑靴 四〇、 ゴム底紺足袋 五〇

(3) 其他

最近ニ多ク敵機空爆ノ目標ニ明ニ兵舎甚ク他建築物ニ向テ
テシテ從來ノ被服兵舎内格納ノ類ニ危険トナリタルヲ以テ
之ガ保全上分散格納ヲ實施セシメタリ

衣類甚ク他被服ノ待避壕内或ハ兵舎床下低所等ニ

(4) 糧食

(1) 本月中 受込高

一月ハ〇生糧品 二〇、〇〇〇 陸北上 九ヨリ受込也

海軍

(五七三三)

3

<p>(2) 本月中 空襲ニ依リ被害 主食品 半月分 副食品 二月分 第四糧食庫 延焼ノ際 焼失</p>	<p>(1) 需品</p>	<p>(3) 本月中 空襲ニ依リ被害 配食器外ニ九件</p>	<p>(4) 俘虏ニ支給スル物不 兵食 一一二食</p>	<p>(5) 糧食現地自給量 十シ</p>	<p>(6) 烹炊所ノ設備 前月ニ同シ</p>
--	---------------	------------------------------------	----------------------------------	-----------------------	-----------------------------

海軍

陸(三二) 4

(七) 糧食在庫並ニ糧食分散状況ノ状況

(A) 本月中セテ製ニ後ル糧食在庫被害

二十四日 第三砲台糧食十出庫中破

二十五日 「セ」止庫改送糧食庫大破

二十六日 第四砲台糧食庫全燒

二十七日 第二砲台糧食庫中破

同日 「セ」止庫改送糧食庫十破

(B) 糧食ノ保有量漸減シ且セ被害ニ依ル被害ハ分散状況ニアルニテ不構

頻ニ來浪ノ為ニ累増スルニ至シテ而シテ六松司令部ヨリ糧食被害

極限方策ニ関スル「備」次第アリ本月中「備」土中「備」糧食庫

(三) 平市ニ構完成セリ

(註) 縦七米横三米方サニ米 柳ノ枝ニ式「備」一棟「備」ニ

「備」スル「備」力カ旭一〇〇名

(續三三)

海軍

(八) 其ノ他

一月三日の早朝有カナル敵機動部隊並ニ飛行機來攻シ間断ナク砲爆撃ヲ加ヘ空炊作業實施ハ極メテ危険ナリニ依リ各戦斗配置ニシテメカ配格めセシメアリタル乾パン及罐詰ヲ三十日朝昼及三十日朝昼夕ノ五回喫食セシメタリ、飲料水ハ僅カノ間暇ハ夕ハ米飯ヲ戰斗配食ヲ盜ミ茶ヲ沸セル外「サイター」ヲ配食シ、戦斗力保持ニ努メタリ

飲料水不足ニ為天水ヲ其ノ傍飲用セル者尠ナカラサリニモ精

緊張ノ故カ午後支障ヲ認メズ

終

原七三二抄 6

海軍

大會計經理ノ部

〔令達〕 結ニ報告ノ大要

弁ノ時 受ノ時

令

達

報

告

抄

三日

大監主計長 權錫前官

金櫃現在高札明書、一月以降ノ隊内通

達字、當隊廢務給子ニ附スル依頼事及列文

記ノ文書(金錢給子事務中止ノ件、十二月分

戦時日協給字依頼ノ件、其ノ他人事務物

品給字ニ附スル件)及戦訓

書

一五日夜當地踐踏米袋收容機ニテ弁送

十九日
一三四五

大監主計長 折長官

全島糧食保有量報告(十五日現在)

主食品八〇日分、副食品七〇日分、炊食人員二七〇〇名

(註) 右糧食保有量ニハ離島(「オロトト島」ニ分

海軍

編七三〇

<p>散格の中ノ糧食ハ運搬ノ能否不明ナ リニ爲 計算外トセリ</p>	<p>正シクハ給 三二五〇名ナリ</p>	<p>六三軍機彙才ニ〇一三〇五番電</p>	<p>要旨ヨリ 戦況ニ鑑ミ当隊ノ金錢給与ハ當部 ニテ掌理シ俸給加俸等一切彙核送ノコトニセ ラシ度キコト(資料ハ副官宛送付シアリ)</p>	<p>二十日 一三〇五 右軍司令 橋本邦長</p>	<p>(二) 經費出納ノ狀況</p>	<p>(4) 敵艦艇並ニ航空機ノ連日ニ巨ル頻繁ナル攻撃ノ爲 報務ニ著大 ナル支障アル事及外部トノ連絡ハ電報以外全部ハ絶セル事 等ノ特殊ナル事態ニ鑑ミ本月分ヨリ本島ニ於ケル出納ヲ中止 セリ</p>
--	----------------------	-----------------------	--	-----------------------------------	--------------------	---

海軍

(四) 敵ノ砲撃ニテ金櫃破壊サレタルニ依リ現金ハ「ドラ」鑱ニ入
シ地トニ埋没保管ノコトトセリ

(三) 物品受拂ノ状況

被服、糧食、需品等ハ保管中ノモノ及供用終ニ貸出中ノモノ等
何レモ連日ノ空襲ノ爲被害続出セリ。之ヲ整理ハ当方留ノ戦況
落着キタル時期ヲ俟テ一括廢理ノコトトス

(四) 糧食現地自給量

本月中 十

(五) 烹炊所ノ設備

配食棚扉等爆風ニ依リ屢々被害アリタルモ其ノ修復迄ニ復
ハス

(六) 糧食庫貯ニ糧食分散納ノ状況

爆風ニ依リ各倉庫屢々破壊サレタルモ其ノ修復直ニ復

海軍

トス

(四) 爆撃ニ依リ半壊シタル士官舎及兵舎跡ニ縦約五米横約四米高サ約一米ノ空四箇所ヲ掘リ糧食ヲ分散埋没セリ

(五) フォーロット島ニ分散格納中ノ糧食ハ大奔等ノ運搬手段喪失ノ為運搬不能トナル虞アリタルヲ以テ航空隊ヲ投擲

ト連絡ノ上夜間屢々敵ノ砲爆撃ニ曝サレツツ數回ニ亘リ全部本島ニ運搬ラアセリ但ニ同島ノ糧食庫ニ棟中

一棟ハ直撃彈一発ヲ蒙リタル為大破糧食若干七失ニアリタリ

(六) 其ノ他

(一) 補給吐線ノ状況ニ鑑ミ糧食喰延シノ為本月中旬ヨリ糧食支給量ヲ定量ノ七割トシ一日一食ハ雜炊トセリ

(二) 頻度敵襲ノ為烹炊作業ハ妨害ヲ蒙ルコト著シキヲ以テ

海軍

（三）

朝食ハ前日夕刻、昼及夕食ハ当日中時期アリ次午烹
炊ニ準備セリ

朝食(1000)ヲ前日一ニ〇〇以炊クモ釜ニ其ノ俵置ク時ハ
当地ノ暑熱ニ不恰劣敗ヲ来サザル例アリタリ

(1)長期ニ亘ル陸上戦斗ニ於テ戦斗後食ハ事莫不下氣ニシテ
敵襲ナキ尙暇ニ各食卓番ノヒテ受取リニ来ラシメタリ

(2)施設物倒壊及直接ノ被害ニ依リ天水欠乏シタル爲飲
料水ハ悉ク井戸水使用ノ止メナキニ至レリ。相当塩分ヲ

含有スル場合モアリタル爲ト痢疾者誘發ノ例モヲ
若干認メタルモ弊害ハ其ノ程度ニ止マリシヲ幸トセリ

当地ノ如キ特殊ノ井戸水清淨劑ヲ研究準備シ置ク
ノ緊要ナルヲ痛感ス

（續七二）

海軍

S 20.3 分

2112

計経理ノ部		令達並ニ報告ノ大要		令達報告等		種別
十日	大警司令	四艦隊長官				無
<p>「マロエラ」島製米並ニ供有馬報告(三用一ゆ取車) 主食品ハ一日分、副食品ハ六七日分供食人員 三、二〇〇人、 三割程度減給</p>						
<p>(二) 経費出納ノ状況 當才面戦況上之加出納不可能ノ爲前月ニ引續キ中止</p>						
<p>(三) 物品受拂ノ状況 連日ノ空襲ノ爲被害続キスルモ當才面ノ戦況落着キ タル時期ヲ俟テ一括整理ノコトトス</p>						
<p>(四) 被服 若干程度尚交換可能</p>						
<p>(五) 糧食</p>						

海軍

機七三號

(1) 定額ノ七割ヲ以テ喰延中

(2) 本月中空籠衣ニ依ル被書

主食品 三日分

副食品 十八日分

但本島総員ニ付スルモノ

(3) 四日一回酒一人一合(又ハコビール半本)乃至甘味品一袋(個)

ヲ配給慰安ニ資ス

(4) 需品

大半ノ品目ハ在庫ナシ各人廢品ヲ利用シ必要ニ充

ツル様種々工夫ノスルベキモノアリ

(4) 糧食現地自給量

椰子ノ實一五〇〇個「オロツト」島ヨリ採取

(五) 烹炊所ノ設備

前同ニ同シ

箱七三三

海軍

(六) 糧食庫並ニ糧食分散格納ノ狀況

(1) 本月中空襲ニ依ル糧食庫被害

才一糧食庫 中破 (十九日)

才二糧食庫 全壞 (三十一日)

半土中糧食格納所 二箇所全壞 (三十一日)

(2) 砲撃ニ依リ破損ニ居リタル病室前五〇屯天水「タンク」内ニ

副食品七〇分ニ分散格納セリ

(3) 被害ニ因リ及分散格納ノ性質上糧食庫ノ閉鎖ノ不完全

ナルト又戰鬥ノ為監視ノ不充分ナルト又食事減給ニヨル

空腹ト且又各隊混雜セル等ノ為予防手段ヲ潜リ糧

食ノ盜難事件頻發ノ傾向ヲ見ルハ遺憾ノ極ニナリ

(七) 其ノ他

烹炊所受爆セバ配食柵ニ列置セル配食器ハ一時ニ大量

海軍

第七三〇

破損スル虞アルヲ以テ本同中甸ヨリ之ヲ各卓ニ分散保
管セシメ食事間際ニ持参ノ上配食ノコトトセリ

（終）

（福七三納）

海軍

分 4 20 2120

文
會計經理ノ部

<p>令 達 茲ニ 報 告 ノ 大 要</p>	<p>弁 日 時 受 日 時 令 達</p>	<p>一 日 〇 七 三 〇 人 事 局 長</p>	<p>六 三 警 司 令</p>	<p>横 吳 人 事 部 長</p>	<p>佐 部 長</p>	<p>野 本 隊 長</p>	<p>成 度</p>	<p>一 日 〇 七 五 五</p>	<p>六 三 警 司 令</p>	<p>七 五 空 司 令</p>	<p>七 五 空 司 令</p>	<p>七 五 空 司 令</p>
<p>報 告</p>	<p>令 達</p>	<p>〇 四 船 隊 核 査 才 二 八 〇 九 一 五 卷 電 ヲ 以 テ 當 隊</p>	<p>ニ 一 時 勤 務 セ シ メ ラ レ タ ル 才 二 五 二 航 空 隊 當 地</p>	<p>殘 留 員 二 対 ス ル 人 事 ハ 二 月 才 二 五 二 航 空 隊 核 査</p>	<p>才 〇 七 一 三 〇 〇 卷 電 通 引 続 中 貴 才 二 十 處 理 相</p>	<p>成 度</p>	<p>七 五 空 司 令 六</p>	<p>才 〇 四 船 隊 核 査 才 二 八 〇 九 一 五 卷 電 ヲ 以 テ 四 月 一 日 附</p>	<p>當 隊 二 一 時 勤 務 セ シ メ ラ レ タ ル 貴 隊 當 地 殘 留 員</p>	<p>員 二 南 ス ル 人 事 並 令 裁 切 矣 未 引 續 處 理 依 舊 件</p>	<p>員 二 南 ス ル 人 事 並 令 裁 切 矣 未 引 續 處 理 依 舊 件</p>	<p>員 二 南 ス ル 人 事 並 令 裁 切 矣 未 引 續 處 理 依 舊 件</p>

海 軍

前七三三號

(一) 経費支納状況	当才面戦況上之が支納不可能ノ為前同ニ引續キ中止
(二) 物資受拂状況	連日ノ空襲ノ為被害甚大ナルモ当才面ノ戦況落着キタル 期ヲ俟テ一括整理ノコトトス
(三) 被服 在庫極メテ僅少ナルモ若干程度高交換可能	
(四) 糧食	
(1) 在庫高 (十五日現在) 主食品 七八日分 副食品 四九日分	
(2) 定量ノ大割ヲ以テ喰延中	
(3) 同島内各隊ノ糧食保有量ヲ調査ノ上供食員数ニ據	

三七三

海軍

分の授受ヲナシ平均化ス

(B) 本月中空襲ニ依ル被害

四月八日 本隊員ニ付スル主食一日分

四月二十日 本隊員ニ付スル主副食品共一日分

四月二十四日 本隊員ニ付スル副食一日分

(C) 四月二一回酒一人一合(又ハビール半杯)ヲ配給慰安ニ資ス

(A) 需品

前同ニ同シク大半ノ品目ハ在庫ナシ

④ 糧食現地自給量

生糧品皆無ノ為兵員ハ草ヲ食テ食ヒ敵弾ニ依リ浮キタル魚ヲ

拾ヒ「リ」フ「上」ニ章魚・蟹・貝類ヲ漁ル等淡グマシキ工夫ヲ凝シ

離島ヨリ拾集スル青椰子・椰子「リ」ゴ「ル」至「コ」プラ「ス」ラ珍重

セラルル有様ナリ

三七三

海軍

(五) 烹炊所ノ設備

(一) 四月八日初爆ニ依リ少破 施設部ノ手ニテ數日後修復ス

(二) 四月二十八日初爆ニ依リ三砲台烹炊所全壞(釜、トセメント製電

異狀ナシ) 其ノ跡ニト夕ニ張込施設ヲ完成ス

(六) 糧食庫竝ニ糧食分散格納ノ狀況

(一) 四月二十日初爆ニ依リ海士官舎跡埋没糧食庫ニテ所半壞直ニ

修復ス

(二) 四月二十四日初爆ニ依リ酒保倉庫及才ニ倉庫全壞、才一倉

庫及假烹炊所倉庫少破

右ノ外才一倉庫竝ニ假烹炊所倉庫ハ爆風ニ依リ屢々少破セ

ルモ其ノ修復修理ス

(三) 四月二十八日初爆ニ依リ三砲台倉庫半壞ス

(四) 士官舎竝ニ病室前天水ヲタンクシテ清掃乾燥シ之ニ糧食

四七三抄

海軍

ヲ分散格納セリ

(木)被害ニ因リ及分散格納ノ性質上糧食庫(団)毀ノ不完全ナルト

又戰鬥ノ為監視ノ不充分ナルト又食事減縮ニ依ル空腹ト

且又各隊混雜セル等ノ為糧食ノ盜難事件頻發シ之ガ

爲ノ喪失量尠軽視シ得ガルニ至リタルヲ以テ遂ニ分散格納

ノ利ヲ一部犠牲ニシ逐次監視可能ナル東部地区ニ分散中ノ

トドラシ岳岳米麦其ノ他半埋没糧食ヲ集中シ此ノ狭

隘ナル地区ニ分散ノ上終夜巡回監視スルノ止メナキ実情ヲ

遺憾トス

(七)其ノ他

(ウ)玄米ノ保存狀況ハ佳良ニシテ精米、精麦ノ如キ虫ノ發

生僅少ナリ、玄米ヲ飯ニスル時ハ一時消化不良ノ兆アル

モ雜炊ニ使甲スル時ハ腹持チ良ク歓迎セラル

編七三抄

海軍

(四) 醬油ハ爆風ニ付シ甚ク脆弱ニシテ之ニヨル損耗ハ意外ニ
 大ナルニ反シ硬化油ハ容器破損スルモ流失セサルヲ徳トス

(終)

百七十三

海軍

會計經理ノ部

令(連)誌ニ載ケルノ大要

發日時是日時 令

十(十)

報 七

七

七

十日 各隊ノ離島ニ於ケル物資ヲ取得ニ關シ左記ノ

通(定)ケ

文

記

一才針

(一)速ニ離島ニ於ケル豊富ナル燃料資源

ヲ拾集運搬シ本島内ニ多量蓄積スル

ニ努ムルコト

(二)當奇隊ノ糧食事情上眞ニ止ムヲ得ザル

ニ至ル迄離島ニ於ケル糧食資源(糖果

菓子獸鳥魚類等一切)ノ濫獲ヲ嚴ニ戒

海軍

第七三號

<p>×之ヲ枯湯セシメザル様ヲ努ムルコト</p>	<p>(三) 島民所在離島ニ於ケル物資ノ取得ハ 島民トノ取引又ハ其ノ了解ニ依ルモノト シ強奪等島民ヲヒテ当部隊ニ反感 ヲ抱カシムルガ如キ行爲ナキ様留意ス ルコト</p>	<p>(四) 離島ニ於ケル物資ノ取得ハ各隊ニ於テ統 制シテ之ヲ行ヒ個人ノ逸ナル取得消費 ハ一切之ヲ禁ズ</p>	<p>ニ要領</p>	<p>(一) 各隊ハ在リ離島ニ於テノ外物資ヲ取得スベ カラズ</p>	<p>(二) 警備隊・航空廠</p>	<p>コタロア島ヨリ北廻リ</p>
--------------------------	--	---	------------	--	--------------------	-------------------

海軍

<p>「タール」 「カービン」ヲ至「エニブー」ニ至ル迄ノ諸島</p>	<p>(2) 施設部、軍需部</p>	<p>(1) 「タロア」島ヨリ南廻リ「エグリッペン」 「アイリック」ヲ至「マカル」ニ至ル迄ノ諸島</p>	<p>(2) 椰子実伐採燃料取得ニ關シテハ(一)ノ諸島ヲ利用スル事ヲ得</p>	<p>但シ此ノ場合ハ警備隊ニ協議シ且現場ニ於テ其ノ指示監督ニ服スルモトス</p>	<p>(二) 離島ニ渡島スル場合ハ其ノ日時・場所・目的・人数等ヲ具シ本職ノ許可ヲ受ケル外必ず作業隊ニ相当ノ責任者ヲ附シ</p>
------------------------------------	--------------------	--	---	--	---

（海七三三）

海軍

<p>三十一日 〇五二〇</p>	<p>PM糧食 補給担当官</p>	<p>4月参謀</p> <p>一、主食 四五〇分（之ヲ五割ニテ喰込中） 二、副食 二七〇分（之ヲ三割ニテ喰込中）</p>	<p>海軍</p>
<p>三十一日 一〇〇一</p>	<p>各島糧食補 給担当官</p>	<p>五月末糧食現在量（主食副食別）要補給人員 照会ノ件</p>	<p>電</p>
<p>其ノ行動ヲ嚴重監督シ一ニ揚グル情 事取ノ嚴守ヲ図ルベシ （三）在陣ニ関スル要務ハ警備隊主計長ニ 担任セシム （四）FMロエラップノ物動協定ハ当分ノ内其ノ 適用ヲ停止ス</p> <p>（終）</p>			

備七三二抄

三、要補給人員

海軍三五〇名、陸軍三五〇名

(一) 経費申納ノ状況

当方面ノ戦況上之が申納不可能ノ為、同日ニ引續中止

(二) 物品受取ノ状況

連日ノ空襲ノ為、被害頻著スルモ、当方面ノ戦況悪化ナク

ル時期ヲ俟テ一括搬送ノマストス

(三) 在庫極メテ僅少トナリ殆ト機能停止ス

(四) 糧食

(1) 一日当島所至各隊ノ糧食貯子量ヲ左ノ通ニ定ス

主食 一割 副食 三割五分

(2) 在庫寸(五回一日乃十五日現在)

主食品六八日分、五七日分、副食品 四一日分、三五日分

海軍

(續三三)

<p>(3) 本月中空襲被害ニ依ル被害 五月九日 当隊員ニ計スル一日分 五月十九日 当隊員ニ計スル五日分</p>	<p>(4) 中旬迄四日ニ一回酒一人一合(又ハビール半杯)配給慰安ニ 資シタルモノ遂ニ在庫盡ク</p>	<p>(1) 必需品 (1) 在庫枯渴ニ至ル程度停止ス (2) 五月十九日収爆ニ依リ必需品庫全壊。数日後「トク」ニ張 任投物ニテ低中モノ完成</p>	<p>(4) 糧食現地自給量 (1) 漁撈ニ依リ生業 二〇〇軒 (2) 生糧品皆世ノ為兵食ハ野菜又ハ草ヲ育テ又ハ之ヲ 振ミテ食ヒ「リーフ」上ニ章魚、蟹、貝類ヲ漁ル等涙</p>
--	---	--	---

海軍

(横七三二)

（七七三）

グマシキ工夫ヲ凝シ離島ヨリ拾集スル青椰子、椰子、
ンゴシ乃至コプラスラ珍重セラルル有様ナルコト亦同ニ

同じ

(五) 高炊所ノ設備

(4) 五月九日 祝爆ニ依リ半壊

焼却炉ノ午ニテ数日後修理完成ス

(2) 五月九日 祝爆ニ依リ全壊

セメント製電線全部小破ナリトクニ張
假設揚ニテ低キモノ完成ス（一念子乾
パンノ配食）

(1) 同日

茶湯所建物電線全壊

数日後修理完成ス（セメント製電線

再製造ノ向火屏風ヲ使用シ高炊

作業ニ又降ナシ

(六) 糧食庫並ニ糧食分散格納ノ状況

(4) 五月八日 祝爆ニ依リニ砲台並ニ中倉庫全壊ニ新ニ半土中

海軍

倉庫一棟完成ス

(四) 假高炊所倉庫横ニ半土中倉庫一棟新設

(五) 五月十九日祝爆ニ依リ第一糧食庫(殆ド使用シアラザリシモノ)及假高炊所倉庫全壞ノ為糧食ハ軒投半土中倉庫竝ニ高炊所等天有コトナラシ其ノ他ハ全部移転ス

(三) 盜難續出ノ対策トシ分散中ノ糧食ノ本部地更リ上ゲテ了シ後夜巡邏ト相俟テ盜難ハ殆ド其ノ跡ヲ絶ツニ至レリ

(七) 戦州其ノ他

(一) 長期ニ亘ル糧食ノ高率減給ノ為兵員ノ体位ニ漸次影響ヲ及ボシ虚弱ナル補充兵其ノ他ニ病人漸増ノ傾向ニ在リ

(四) 飲料井戸水モ多量ノ爆薬破損施設物ノ埃芥等ノ為汚染ヲ免レズ、此ノ衛生上ニ面白カラサル食事、不衛生的ナル居住等ハ相俟テ因ヲ爲シ下痢患者ハ相当数ニ上リ軽度ノ下痢

海軍

續七三三

ニ至リテハ常態化ノ傾向ニ在リ

(4) 糧食ノ消費ノ低減対策トシテ個理中ニ於ケル消耗率ノ極限
栄養学上適宜ナル献立ノ作成ニ依リ生的ナル高炊作業及
公平ナル配食ヲ主眼トシ努力セリ

主計兵ノ栄養学的知識ハ甚シク貧弱ニシテ新兵教育時
代ヨリ相当ノ栄養学的知識ヲ涵養スルニト緊要ナリト痛
感ス



(續七三三)

海軍

會計長

②

會計經理

一、令達並ニ報告ノ大要

特記事項ナシ

二、經費出納ノ狀況

此方面ノ狀況上之ガ出納不可能ノ爲前月ニ引續キ中止

三、物品受拂ノ狀況

(一) 被服

在庫枯渴シ機能停止ノ状態ニ在リ

圖七三二(四)

海軍

糧食

1. 本月中各島所在各隊ノ糧食給與量左ノ通

一月ヨリ 主食ニ割七分以内 副食ニ割三分以内ニ於テ漸減シ下旬ヨリ

椰子實(ユアラ)一担ヲ主食代用トシ南俣食スルニ至ル
昼食ニハ

2. 在庫高 (一月ヨリ 十五日現在)

主食品 一六日ヨリ一三日ヨリ 別食品 一三日ヨリ一七日ヨリ

(註) 離島開隊ニ不給

(糧食)

3. 本月中空襲ニ被害ナシ

(三) 需品

在庫枯渇シ機能停止ノ状態ニ在リ

圖七三三

海軍

四糧食現地自給量

一、糧食開採隊ニ依ル本月中、蒐集高ハ別表ノ通

本月中旬ニ本環礁内島民約五〇名ハ敵ト通謀ノ上全島脱却他ニ移リタルヲ以テ今後

日産掃班及糧食納付点数制(九月分本欄参照)ヲ基調トス自給量

左ノ通

生菓肉

四一〇班

瓜類及食用雜草(苺)トドンドロトモシモシノ等(四九一〇班)

五、其他特記事項ナシ

四九三二班

空 1080
w. 830
空 175k
235

海軍

別表

昭和二十一年中島縣離島糧食送付概況

各島糧食送付情况

品名	島名	単位	カベ	三浦	大島	工部	志	サ	大島	小笠	伊豆	伊豆	伊豆	伊豆	伊豆	伊豆	伊豆	計
椰子	美	個	10,730	2,964	790	2,520	1,372	1,528					2,810	320	50			23,43
燃料椰子													3,000		2,000			5,000
椰子筍			102	40			40	20					90					272
干魚	鹿		20-	19-	93-	21-	2.5-	9-		20-	4-	5-	131-				235-	350-
パンノ実	個		34										30					64
パンノヤ			405		150													555
同輪			10		150													160
千ヤカマイ			2															2
生塩魚	鹿		17-	28-	59-		14-			19-		13-	31-					81-
塩	赤		67	50	35	120	110	30	40	22	15	30	41			40		600
澱粉	鹿		196-															196-
毛ノパ	籠		29	31	96	90	32	30	20	15	4		20	20	32			419
塩辛	合					80					40	24						144
生椰子	個		60	75	84	60	40	60					40					419
メルセス	籠		30	20		20		4				6	30					110
夕コノ実	個		45							25			6					76
南瓜	鹿		398-	88-	15-								275-	27-				5565-
食用草											7							7
夕口芋	個		12															12
ベ一口	鹿		516-															516-
ネツミ	匹			27														27
マグモノ芋	鹿		400-														40-	440-

2138

全計長

(上)

<p>會計經理ノ部</p> <p>(一) 令達ニ報告ノ大要</p> <p>奉日時</p> <p>要日時</p>	<p>三月十一日</p> <p>〇五〇二</p> <p>63kg</p> <p>司令</p> <p>研究課長</p> <p>横須賀海軍部</p>	<p>左記調査ノ上御通知方相成及</p> <p>一、椰子ノ實増收ノ簡易ナル栽培管理法ニ其ノ効果</p> <p>二、椰子ノコブコ (椰子リンゴ、青椰子實) モシハ、大葉</p> <p>莖ノ葉着層價值ニ果着層の喫食域及後ニ若ク、</p> <p>若井出シノ要否</p> <p>三、着層ノ大部ヲコブコ (過熟ニシテ指節食) トスル増</p> <p>ノ性着層等</p>	<p>(二) 經費出納ノ状況</p> <p>此方面ノ状況上之が出納不可能ノ爲前月ニ引續キ中止</p>
<p>種別</p>	<p>電</p>	<p>海軍</p>	

③ 物品受拂ハ状況

(1) 被服

在庫枯渴シ機能停止ノ状態ニ在リ

(2) 糧食

(1) 本月中並島新在部隊ノ糧食給與量左ノ通

二月一日ヨリ 五食 米麦二六〇月 副食 副食ニ別以

(2) 朝昼食共椰子食(200g)一個ノ主食代用トシテ供食ヒリ仍テ本

月中ノ米麦ノ実階消費量ハ二〇〇分ニ在リ

(2) 在庫高 (二月)ハ十五ト現在)

主食品 一三〇分六〇分ハ分 副食品 一〇〇分六〇分ハ分

(3) 離島糧食開隊ニハ不給

海軍

(II) 需品

在庫枯渴シ機能停止ノ状態ニ在リ

(四) 糧食現地自給量

(1) 糧食開採隊ニ係ル本月中蒐集方ハ別表ノ通。但シ採食殆ト盡シテ

採食材不足ニ至リ其ノ他ノ糧食開採隊ハ減産シテ採食材不足ニ至リ又採食ノ結果

自給量左ノ通

生魚大肉

一九五〇年

瓜類及食用雜草(苧トシドロビ)モント等)ニニ七〇觔

(五) 其他特記事項

和柳等ノ主食食料ノ成績ハ良好ニテ採食隊ノ活動ハ本月中より更に増加セラル

自給量増加ニ爲メ農作努力ヲ一層強化スル目的ヲ以テ採食隊員ノ訓練ヲ増進ス

自給量増加ニ爲メ農作努力ヲ一層強化スル目的ヲ以テ採食隊員ノ訓練ヲ増進ス

1715

ST41

甘藷樹立実施セリ

終

昭和二十年十月十日 食糧配給表

品名	単位	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	計
椰子 実	個	42,000	1,750	930	3,300	8,500	12,000					20,320	4,027		93,727
燃料椰子	リ											4,760			4,760
椰子 荷	リ	20				25						60			115
干魚	箱	62,500	62,000	26,500	12,200		56,000		26,000	4,000	6,000	120,000		64,000	443,000
パンノ実	個	274													274
パンノヤ	リ	1,383		700											1,483
同 輪	リ	19		50											69
生塩魚	箱	15,000			2,500	36,000	5,000					81,000			139,500
塩	袋	90	55	70	80	140	145	20	110	24	15	60		40	782
モノパ	籠	60	25	85	50	15	60	10		5		20	50	36	416
塩 幸	合				140						24				164
生椰子	個	185				20	30					100			335
又ルセス	籠	71	20	21	10		12	41			6	20			201
蛸ノ実	房	594				27						486	12		1,119
南 瓜	箱	264	25,000	85,000		16,000	23,000					28,500	48,000		489,500
豚	リ	30										49,000			79,000
マズリ芋	リ												62,000		62,000
犬	リ	15													15,000
食用草	籠									12					12
豚石焼	箱				10,000										10,000
ト	リ			3											3

2142

①前表同 本表中心(丸) 漆ノハ一巨分幾シリタルニ依リ本表合算掲記ス。

会計長
①

會計經理ノ部

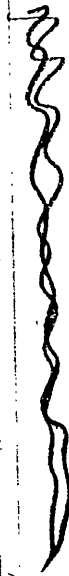
① 令達 茲ニ報告ノ大要

発日時 宛日時 令達 茲ニ報告ノ事項

三月十八日
〇八二五

水田經理部長
63kg 司令

年終末當興支給ノ件 通知



① 經費出納ノ状況

當方面ノ戦況上之が出納不可能ノ爲前月ニ引續キ中止

海軍

昭和十六年三月

(三) 物品受拂ノ状況

(4) 被服

在津枯渴ニ機能停止ノ状態ニ在リ

(四) 糧食

(1) 本月中芝島所在各隊ノ糧食給與量左ノ通

前月ヨリ主食米麥一五〇瓦 副食ニ割以內ニシテ朝食食共

二七〇三一個ヲ主食代用トシテ米麥七〇瓦ニ換算候食ニ

三月十五ヨリ朝食食ニ二〇〇三一個^{中分三トシ百}米麥八〇瓦ニ換算^(主麥給與量ニ〇瓦トナル)

三月三ヨリ朝食食ニ二〇〇三一個^{中分三トシ百}米麥八〇瓦ニ換算^(主麥給與)

二〇〇三

〇瓦トナル) 候食セリ

海軍

(2) 在庫高 (三月一、十五日現在)

主食品 一〇五分、副食品 九五五分、九五分

(註) 離島糧食開弁隊ニハ不給

(3) 保存状況ハ優良ニシテ腐敗損敗ニ因ル減耗ハ殆トナシ、殊ニ「ドラム」罐詰ノ米麦ノ保存状況ハ申介ナシ、罐詰ハ屢々油拭ヒテ施行ス

(1) 需品

在庫枯渴ニ機能停止ノ状態ニ在リ

(四) 糧食現地自給量

(1) 糧食開弁隊ニ係ル本月中苗葉高ハ別表ノ通

(2) 環形班及糧食納付点数制 (十九年九月分本欄参照) ヲ基調トス
自給量 在ノ通
三ノ〇倍

瓜類及食用雜草(蔓)「トト」モ「ハ」等

四四〇〇 海

軍

五、其他

(一) 糧食給與ハ二月以降高率ナル自給糧食液存トナリタル處當時ハ尚

相當量ノ枯椰子実ヲ得タル爲最低必要量タル一〇〇〇カロリー^{月餘}山熱量

アル糧食ヲ給與スルヲ可能ナリレ故ニ隊員ノ健康狀況ハ稍恢復セルモ

本月ニ入り自給糧食量ハ減少ノ一途ヲ辿リ下旬ニ至リ其ノ熱量^量価

ハ九〇〇「カロリー」ニ足ラザルニ至リ隊員ノ健康狀況ハ再度悪化シ来リ

タルハ遺憾ニ堪ヘズ
飛行場草地スラ一面ニ黄葉ニ程ニテ

(二) 昨年未以來ノ強風及旱天ハ本月ニ入ルモ依然タルモノアリテ農作物

ハ殆ト發育セズ收穫量ハ謂フニ足ルモノ無キモ尚農作ニ勵ミ口糧

天候恢復ノ機ヲ翹望シアリ 他方本島ノ海岸ニ於ケル漁撈ニ於テ

ハ相當ノ成績ヲ挙グル事例モアリ多少トモ糧食改善ニ貢献シアリ

五、其他

ナシ

海



別表

昭和二十年三月開隊隊高島糧食蒐集成績表

糧食物資蒐計表 (三月分)

品名	呼称	カ	バ	ン	エ	ン	ケ	ン	ル	キ	コ	ク	ケ	ク	ク	ク	ク	ク	計
椰子	個	28,000	3,400			100	10,100	6,300							11,290	7,000		64,190	
椰子	個					500									7,500			9,000	
椰子	個	1,000					20											20	
椰子	個	19,500	49,000	15	8	1,800												19,500	
椰子	個	60																60	
椰子	個	108		60														108	
椰子	個	6																6	
椰子	個	3																3	
生塩魚	斤		29												865			11,290	
塩魚	斤	90	190	100	80	160	108	25	42	24	30	90						977	
モシバナ	斤	57	66	62	70	46	40	20		7		50	97					515	
生椰子	個	190					80					200						470	
メルセ	斤			46	20	4	46		30	4		60						210	
タコ	斤	4,62	3		61		10					98						577	
魚	斤	130,000				118	38					244	47					14,000	
マグロ	斤																	60	
魚	斤	5																5	
ズミ	斤					27												27	
大	斤	11,000										5						11,000	
干	斤	24					5	6				7						48	
干	斤						1	30										31	
食	斤										10							10	

2147

主任長
⑤

會計經理ノ部

一 令遠竝ニ報告ノ大要

特記事項ナシ

種別	借	金	公	金	計
先立					
業社ニ寄附金	76,766.16	20,680.11		97,446.27	
日米五穀店	0	23,748.47		23,748.47	
米子用野原 米田遊樂所	150,320.71	0	0	150,320.71	
計	227,086.87	44,428.58		271,515.45	

② 經費出納ノ状況

此方面ノ戦況上之ガ出納不可能ノ爲 前月ニ引續キ中止

尚四月一日現在(昭和十九年三月)日以降変化ナシノ當島内互各隊ノ保管金ナリ

③ 物品受拂ノ状況

左ノ通

④ 被服

在庫 枯渴シ機能停止ノ状態ニ在リ

四月分 算日 〇 〇 〇 〇

海軍

糧食

(1) 本月より当島所在各隊、糧食給與量ヲ左ノ通トス

主食 米 考一五〇瓦、副食 薪 以內トス 朝食 昼食 三ツニ分テ 一何トス

之ヲ米考一〇瓦ニ換算(米考給與量五〇瓦トナル) 供食ス

尚配食回数ヲ朝(朝食ハ昼食)・夕・二回ニ減セリ

(2) 在摩高 (四月一日 十五日現在)

主食品 九〇 副食品 九〇

(註) 離島糧食 開隊隊ニハ不給

(3) 本月中空襲ニ依ル被害

四月二十五日 塩 一〇〇 砥

(イ) 需品

在庫枯渴ニ機能停止ノ状態ニ在リ

海軍

(四) 糧食地理地自給量

① 糧食開採隊ニ係ル本月中蒐集高ハ別表ノ通

② 臺灣班及糧食納付点数制(十九年九月分本欄参照)ヲ基調トスル

自給量左ノ通

生魚肉

一、四〇〇担

瓜類及食用雜草(寬(トンド)山(モン)等)

五、二五〇担

(ハ) 自給糧食ノ大宗タル枯椰子製ハ概テ枯ヒ盡シ自今ハ新ニ下落下ルヲ待タザルヲ得ザル狀況トナリタル虞念糧食開採隊ノ報告ヲ綜合スルニ本環境内ノ結實能力アル椰子製ハ四萬本内外ニシテ其ノ一本平均、毎月成熟数ハ僅ク一何内外ニ過ヤザル如ク南洋序ノ調査報告タルハ何内外ノ成績ニ較ベ著シク減少セリ原因ハ叢ニ脱島セル

海軍

島民ノ青椰子實濫獲ニ在リタル中ノ管理ノ失當ニ在リヤ或ハ他ニ
在ルヤ判断ニ迷ヒアリ

(イ) 菜候ハ漸リ農作ニ好都合トナリタル爲 苧草南氏其藩ノ成育
旺盛トナリ (ロ) 掲記以外各食卓ニ自炊ノ野菜ハ前月ニ倍量セリ
殊ニ苧草ノ栽培ハ容易ニテ深農補填ニ貢獻セルト尠シトマス

(ホ) 本月中旬新ニ換務班ヲ編成シ各支炊所ニ班宛附屬シ爆発物ヲ
專用大量採獲ニ当ラシムルトセル處最也鯨群ノ出現ト共ニ
漸次成績ヲ收メツツアリ

(四) 支炊所ノ設備

四月三番堀壕(至近隣)ニ依リホ一急炊所(假設物)半壊ス復旧工
二日ヲ要セリ

海軍

(2) 糧食庫に於て糧食分散格納状況

四月半迄は初繰に依り第一倉庫所前、糧食格納庫或はトシル桶等勿論
~~直轄庫等並に準直轄に依り大破使用不能トナル~~

(3) 其他

昨年十月以降、糧食給與状況及死亡率は如し

月別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
捕虜所在總人数 (各月一日現在)	2681	2618	2466	2248	2031	1876	1756
死亡人数		59	89	97	76	63	89
死亡率	26%	(61)*			(82)**		(92)
貯糧糧食総量	1050	1000	950	900	1250	1000	750
格納内八基 (加一)							

** 270kg 100g 1袋を西7900 Calory と推算セリ。

二十一年 五月分 原簿

會計經理ノ部

一) 令達並ニ報告ノ大要

五十一三一	大発其他在隊ニテ定期的ニ運輸シルニ主要輸送手段ヲ使用シ得
「ロエラ」	此場合本隊及離島糧食用裝隊(以下單ニ同名隊ト稱ス)内ノ同名糧食
防備部隊	其他物資ノ輸送ハ尤ニ重要領ニ依リ實施スルモノトス
指揮官	本要領ニ依リ輸送ヲ特別輸送上呼稱シ特別輸送ノ開始並ニ終リ

二) 經費出納ノ状況

此方面ノ戦況上之ガ出納不可能ノ爲前月ニ引續キ中止

三) 物品受拂ノ状況

四) 被服

在庫枯渴シ機能停止ノ状態ニ在リ

海軍

其ノ都度特令ス

九 記

- 一、同部隊長ハ自隊ノ受持ノ特別輸送区間ヲ通過スヘキ同裝糧食其他物資(以下單ニ物資ト呼稱ス)ハ人力ヲ其他有ユル手段ヲ以テ最モ迅速大量ニ輸送スルニトス
- 二、各同裝隊ハ特別輸送ヲ受持シヘキ区間ヲ左ノ通トス

同裝隊名	特別輸送受持区間	タール	タール
カレン	カレン↕エルバル	オロト	モバヤ↕ピヤト
エルバル	エルバル↕オネマ	ピヤヤト	ピヤヤト↕本島
オネマ	オネマ↕エネヤ	エネヤ	エネヤ↕本島
エネヤ	エネヤ↕エーン	クマレ	クマレ↕エネヤ
エーン	エーン↕タール	アキツタ	アキツタ↕クマレ

但物資ノ迅速大量ナル輸送ヲ圖ル爲メ内側同裝隊長向ニ協議シ臨時ニ本特別輸送受持区間ヲ変更シ又ハ隊他隊ノ受持区間ニ互リ特別輸送ヲ有スルヲ得ル
 概ノ外特別輸送ニ爲本隊ヨリ小舟艇ヲ派遣スルヲアヘン

三以下一五、省略

(終)

(四) 糧食

(1) 本月中 当島所在各隊ノ糧食給與量ヲ左ノ通トス

一日ヨリ 主食 米麥 一四〇瓦、副食 一割八分 給トス。朝食 食 三二〇瓦

一割トシ之ヲ 米麥 一〇瓦ニ換算 (米麥給與量 四〇瓦) 供食ス

十五日ヨリ 主食 米麥 一〇瓦 減ス

十七日ノ被爆ニ因リ 大群ニ隻艾狀況ニ 離島物資ハ 手不能ニ 近キ状態

トナリタルニ依リ 主食 米麥 一〇〇瓦、凝脂 一五瓦 (米麥三瓦ニ換算) 供食

脂肪食ヨリ 澱粉食ヘノ 急変ヲ 避ルル爲 二十日以降 コラヲ 供食可能ノ 時期也

ノヲ 臨時措置ス

(2) 在軍高 (五月) 日、十五日現在

主食品 一〇〇瓦・九八瓦 副食品 八六瓦七七瓦

(註) 離島糧食開給隊ニハ 不給

海軍

(3) 本月中空襲ニ依ル被害

本月中空襲ニ依ル被害ニ係ル地区ニ爆撃ヲ受ケル為最近稀ナル頻繁ナル被害ヲ生じたり
五月二日 主食 半日分

五月十日 副食 一日分

五月十七日 主食 一日分、副食 半日分

(1) 需品

在庫枯渴ノ機能停止ノ状態ニ在リ

(4) 糧食現地自給量

(1) 糧食開墾隊ニ係ル本月中蒐集高ハ別表ノ通

十日被爆ニ依リ主要海産品大欠ニ及リ一季ニ沈没セシメタルヲ以テ急遽難局ノ現地糧食
小用家係率ヲ以テ賦課セキハリノ旨ヒキ人カ輸送タルトモ措置セル足月未迄ニハ全力必助
スルニ至ラズル為本年後半ハ指ト蒐集ニ能ハサリモ日未ニ至リ大欠一夏ハ修復セリ

(2) 漁撈班及糧食紓付点数敷制(十九年九月分本欄参照)ヲ基調トスル自給量左ノ通

生食大肉

瓜類及食用雜草(莧「トンドロヒ」モシハ等)

一〇九九 好海
二、三九 野

(五) 立放所ノ設備

五月二日被爆ニ依リ、立放所(假設物)全壊ス。再築ニ約五日ヲ要ヤリ

(セ) マントシ十キ厚、窓(ト)ドウ山(ト)ニテ、掛ヲ假製ス

五月七日被爆ニ依リ、航空廠立放所(現在予備トナリ居リタルノ)全壊

(六) 糧食庫並ニ糧食分散格納ノ状況

五月十日被爆ニ依リ、オニ立放所、小倉庫、全壊。附近爆弾痕アリ

利用再築ス

五月十七日被爆ニ依リ、防衛壕糧食糧食及糧食格納(五)トシ水槽(六)トシ

大破(大部ヲ)他ノ倉庫ニ移転格納セリ

七(三)白在庫あり

(七) 其ノ他

本月中ノ糧食総興状況及死亡率

(五)西ニキリ

海

軍

4

2159

8129

除 期 精 食 熟 量	死 亡 率 千 分 比	勞 働 時 間 千 分 比	五 月 一 日 現 在 数
			北 極 圏 右 欄 数
セ サ 三 〇 カ ロ リ	一 四 六 %	一 六 〇 〇	

品名		箱	カニ	エビ	タコ	イサ	カニ	タニ	ホウ	イサ	カニ	イサ	イサ	イサ	計
椰子	実	個	1,800	1,200			2,440	1,550					2,200	2,000	19,280
燃料	椰子	・				1,000							4,000	5,500	10,500
干	魚	箱	109,000	47,000		2,000	18,000			11-	10-	6-	70,500	3,000	332,500
10	1	落	580				700						380		1,160
10	1	中	226		8										234
10	1	中	39												39
生	塩	魚	28-	19-									3,500	77-	214,500
塩		糸	40	50		40	120	125		38			88+	70	483
生	元	ノ	8	23	34	20	2				14			42	198
生	元	セ			26	10	22		10						72
干	元	ノ	7	4								3	6+		14
干	元	セ					29	10					120+		630
干	元	ノ											40	42	126+
生	椰子	・	599		22										183
生	椰子	・	100					40					100		240
南	菜	瓜	119-	218-	163-	37-	107,500	46,500		266-			43-	12-	1,007,000
干	10	ノ	7												7
干	10	ノ					8-						48-		56-
干	10	ノ			28	22	50								100
干	10	ノ	2												2
干	10	ノ													8

2160